

指定管理施設事業評価票(平成29年度分)

1. 施設所管課 教育委員会事務局中央公民館

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市今市文化会館					
	所在地	日光市平ヶ崎160番地					
指定管理者	名称	一般財団法人 日光市公共施設振興公社					
	代表者名	代表理事 阿久津 正					
	住所	日光市瀬尾1640番地22					
指定期間		平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日				5年間	
選定方法		公募		評価実施年	5	年間のうち	2 年目
施設設置目的		市民の福祉の増進及び文化の向上を図るため、文化会館を設置する。					
主な実施事業		市民が文化等を享受することにより教養を高め、文化活動を通じて自らの生活の向上を図り、もって地域社会の発展と社会福祉の増進に寄与するための文化事業を行う。 ・文化事業の企画、実施に関する業務(指定事業、共催事業、自主事業) ・施設の使用許可に関する業務 ・施設の維持管理、運営に関する業務					

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	入場者数	人	58,000	49,392	58,000	46,126						
b	事業実施回数	回	12	11	13	11						
c	施設稼働率	%	60	61	62	48						
d	施設利用者満足度	%	80	94.1	80	91.1						
e	コスト削減率	%	97	—	97	107.1						

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
収入計	A	72,670,773	72,935,013	0	0	0
	指定管理料	71,960,000	71,960,000			
	利用料収入 C					
	自主事業収入	293,108	642,877			
	その他	417,665	332,136			
支出計		69,724,950	74,692,568	0	0	0
	指定事業費	68,551,587	71,689,447			
	内人件費 D	11,804,757	16,201,924			
	内外部委託費 E					
	自主事業費	1,173,363	3,003,121			
事業収支 A-B		2,945,823	-1,757,555	0	0	0
人件費率 D/B		16.93%	21.69%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B		0.00%	0.00%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

高齢者や障がいのある方に対して客席への案内等を行うとともに、施設のバリアフリー化に努めた。
臨時駐車場の確保や早朝のホール利用対応等、利用者への利便性向上に取り組んだ。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B B B	B B B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B B	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B B	B B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B B	B B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B B	B B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B B	B B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B B B	B B B
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B B	B B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B B B	B B A
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B B B	B B B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B B B A	B B B A
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B B	B B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	A
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	C	C
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	C
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)		(指定管理者自己評価) 主催文化事業として、本格的なミュージカルや演劇、音楽会等、質の高い公演を実施した。チケット料金を比較的安く設定し利用者増を図ったが、入場者数が伸びず入場料収入が減少してしまった。今後はより市民のニーズに合った集客力のある公演を実施したい。施設の維持管理に関しては年々老朽化が進む中、施設の整備点検を励行し予算額以上の修繕を実施し、ホール機能の維持に努めた。施設の稼働率については、地元小学校吹奏楽部の利用が大幅に減り稼働率が低下した。市民の文化活動活性化に向けた施策を検討したい。運営経費においては、指定管理料及び財団の独自財源を基に効率的で安定した運営を行ったが、運営体制強化を図ったことにより人件費が増加した。利用者への対応では、主催者を対象としたアンケートで概ね良い評価を得ることができた。 (所管課評価) ・適正な施設の運営管理や丁寧な接遇により、利用者からも高い評価(満足度)をいただいている。 ・施設設備の保守管理や修繕については、適切に行われている。今後も同様の対応を継続しつつも、予算の効果的かつ効率的な執行に努めるなど経費縮減を図ってほしい。 ・大規模ホールとしての機能・特性を活かしたPRを実施するなど、新たな利用者を増やす取り組みを行うとともに、主催事業においてもより魅力ある事業の実施と効果的な宣伝を展開し、入場者及び収入の確保・増加に努める必要がある。		
前半段階評価		C	総合評価 ※3段階評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。 B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。 C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。 ※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。	
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上 B(良好) = A、C 以外 C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。 B(良好) = A、C 以外 C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。